

# 日伯新聞

John M. Kobayashi  
R.G. Achard  
林義金

高岡專太郎  
電話 七一四六八三

J. J. セアブラ氏  
メーロ・ビアンナ氏

ドクトル  
診察時間 午後六時まで

所を選んで開催せよとす。

模様である。

のものであると云つてゐる。何

生産者が共同して行ふべき性質

状態並に前の持ちやうから想像

されるものと想像すること

するところを收穫量が大いに減ぜられ

る豫定であるから、今後三ヶ月

圓滑に行つた上は之を全世界に

示すことは左程難事と思はれ

ない。恐らく前後四十年を費し

けるか、殊に新移民はどうして

やって行くか、まことに以て重

大問題である。

に影響して、その騒ぎは可成り

大袈裟なものとなつてきた。一

国の経済的危機に際して我々

は直接之れを如何ともする

ことは出来ないが、その成行に

ついては深甚の注意を拂つて居

なければならぬ。

傳ふる所によればモチアナ線

のファゼンディロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し嚴格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し厳格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し厳格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し厳格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し厳格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し厳格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し厳格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し厳格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し厳格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し厳格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

の中最も日本人に關係あるもの

は珈琲除草貨の四割減である。

これが若し厳格に實行されると、なれば我移民の將來に取つ

て由々戦大事である。

大体モチアナ方面の舊珈琲地

のアゼンデイロは去三日リ

ロシ市に大會を開き、今回の經

濟的行詰りに対する應急策を講

じた由である。時節柄もつとも

な運動で、何人も異議をさし

されぬ者はない、建議の内容は追

跡で發表されることとして、そ

したなどとは思ひもよらぬ事だ  
「と之を聞いたマ首相は忙  
に安息日をなど問題にして居ら  
れるかい」

客用自動車、貨物自動車、  
其他附屬品一切、長期月賦  
の便も御取計らひ致します

キートンのすました顔に一夕の大笑を求めるらるゝがいゝだらう  
笑はせてゐると  
見せかけて悲しい味を  
うつすがにくらし  
チヤップリン。  
◆ 我と我が手で  
落ち込む穴を  
堀るを承知で  
つるる戀。  
◆ のませてもらつた  
散葉よりも  
實意を嬉しく  
のむ涙  
◆ 雨が降る  
雨が降る  
肅然として降り續ける  
此の雨は遠い大洋から  
はるばると海を渡つて  
海を渡つて……  
永遠に海を渡つて  
心もしめじめ來るのだ。  
海も煙つて居る。  
草も樹も丘も山も  
——一切が煙りこめて居る  
——すつと黙つて  
此の雨の悩みをこらえて居る。  
おゝ、丁度民衆の悩みが  
晴れた時を持つてやうに  
大地は悩み乍ら  
來るべき曙の太陽を待つて  
うめいて居る。  
◆ 蛙  
◆ 南風の吹く晩に  
幽靈船がやつてき来て  
青い胡爪の鎖をひき  
村の天上を航海した  
臆病な泥棒は  
夜の紺と雨模様。木綿縞。着て  
夜明の新しい鹽をとつてつた  
お通夜の晩には  
大酒呑の船乗りがやつて來て  
赤楊の枝で首をくゝつた。  
お前の婚禮のある明日の晩には  
村の男も女も暗い垣根にむら  
がつて  
田園の蛙をきゝに行く。  
◆ 緑の室  
◆ 文藝愛好の讀者を中心として  
この談話室を設けました。むづ  
かしい規則なしに、心ゆくまで  
語らうではありませんか。  
(投稿原稿には緑の室と朱書  
の事)

The image shows a horizontal newspaper clipping from 'CASA AOKI LINS' dated July 1, 1923. It contains five separate advertisements:

- CASA CRYSTAL** (ALMEIDA BARROS & FILHO) - Located at Rua Olavo Bilac, 24, LINS.
- Casa Palma** (ARAÇATUBA - E. F. N. B.) - Advertises '正薄利多賣' (True Thin Profit, Many Sales).
- Casa Uehara** - Advertises '販賣貨雜及品料食' (Food and Beverage Sales) and '達用御者國歸' (Return of the Country of Origin).
- CASA TAIYO** (Caixa, 76 - ALTO CAFEZAL) - Advertises '又親切第一に御用を' (Very Kind and First in Service).
- CASA AOKI LINS** (七三一函郵スンリ) - Advertises '内貨外雜店' (Interior and Exterior Goods Store).

The entire clipping is framed by decorative borders.



# 大衆科學

(上) 葉養から見た各種ヴィタミン

ビタミンとは何ぞや？  
簡単に云へば食物中の營養素である所の蛋白質、脂肪、炭水化物、無機鹽類以外に微量に存在して、動物の營養上必要缺く可

からざる要素の事であります。歴史的には鈴木博士やフンク氏等がビタミンの存在につき研究報告（一九一〇—一）によれば、營養だけでは充分だと思われてゐました。

その後これらの成分を純粹に食物から抽出して動物に與へると、所謂ビタミン缺乏症を起して死んで了ふ。肝油、酵母、リモン汁等この動物に少量づゝ補給してやると再び健康が回復します。段々微候的によく調べて見ると、この缺乏症は一種の病状では無く、數種類の要素の缺

性ビタミンA及びEと、水溶性ビタミンB及びCとに別けます。右の中一つが飲けても忽ち營養上缺陷を生じて來ますが、その際他の物質で代理される事が出来ません。又動物は植物と異つた所の體内でビタミンを持たぬから、植物が作つたビタミンを結局は体内に多く、レボリヨの葉の外側は中部よりも含量が多い。この點から植物中の合成作用は日本光々緑と密接な關係にある事が

右の中ビタミンAは植物の葉に存し、卵黄、動物体脂、魚類肝油等に存し、日光の當る部

分に多く、レボリヨの葉の外側は中部よりも含量が多い。この點から植物中の合成作用は日本光々緑と密接な關係にある事が

出来た物を賣つてゐます。

ヨード チンキ チンキ

ヨード チンキ チ

# 大岡政談

鈴川源十郎  
卷 林不忘作

【第廿六回】

お艶が微かに頭を下げる。

お艶を示して、

お艶を逃がし、左脇への意趣返

しには彌生の居どころを知つた。

お艶ひそかに何事か胸中に豊

んで、わななくお艶をいそがせ

お艶を逃がすと、あとは立つこ

かして、依然と笑つた左脇。ま

あいや。話が理に落ちた。

かし、あんな若造の一四や二四

おれの手ひとつ片のつかねえ

わけは無えが、織姫ひげむくじ

彼女には、この左脇も些さか手

れ。」起上つた源十郎は、

と左脇が虹のやうな酒氣を吐

いたとき、おさよの聲が土間口

をのぞいた。

『すこし手荒かつたかな、は

ございません……あつしみて

えな三下でも何かお役に立つこ

とがりましたら、申しつけ下

さいました。

「へえ。土生の御前の仰言ると

ほりで御座います。いつの間に

お艶はどうした?」

『へえ。さつき歸りました。』

『へえ。さつき歸ったかな、は

はま』

左脇は、船を地に横になる。

『お艶はどうした?』

『へえ。さつき歸りました。』

『へえ。さつき歸ったかな、は

はま』

は故満山の日本の方から御

最負に預つて居るのでせうか

市中自拔の場所で、日本領事館は左脇四軒

目、使用人達の親切丁寧、かいい所に手の届

く様な客扱ひ、室は市内と思はれぬ閑静で、

しかも清潔、お美味しいお食事、そして大麁

強のお値段

は、何故満山の日本の方から御



# NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonez de maior circulação no Brasil

Anno XV

São Paulo — Quinta-feira, 7 de Novembro de 1929

Num. 649

## A MUNICIPALIDADE DE TOKIO VENDE OS TERRENOS DE SUA PROPRIEDADE PARA PAGAR SUAS DIVIDAS

Inaugurou-se em Fukushima um monumento ao sabio Noguchi

Um professor japonez convidado para leccionar bellas artes na China

Notavel decrescimento na importação japoneza

Mais tres navios na linha Yokohama-Nowa York

O Banco Especie de Yokohama resolve fechar varias das suas agencias no exterior

Instituiu-se em Tokio o serviço de limitação á natalidade

FALLECEU UM MEMBRO DA CÂMARA ALTA

### Os terrenos municipaes de Tokio

TOKIO, Outubro de 1929 — A municipalidade desta capital possue mais de 2.500.000 metros quadrados de terrenos urbanos, entre os quaes 780.633 estão desocupados e portanto, sem rendimento algum ao fisco. O governo municipal que absorve annualmente "deficit" superior a 17.000.000 yens em sua balança, e cujo "deficit" vinha sendo coberto por meio de dividas publicas que aumentavam de anno para anno, não podendo continuar a acumular-as, em virtude das rigorosas medidas parcimonicas tomadas pelo governo central, volvera ha pouco tempo a sua vista a esses patrimonios que poderiam ser convenientemente vendidos ao publico, converteu o produto da venda em resgate das dividas invenciveis. Segundo o que ficou apurado pela comissão de discriminação e demarcação do municipio, os terrenos, vendidos em lotes, produzirão a importancia nunca inferior a 27.811.823 yens.

### Monumento ao sabio Noguchi

TOKIO, Outubro de 1929 — Realizou-se, em 29 de setembro ultimo, em Mishirogata, na província de Fukushima, berço do grande sabio, a inauguração do monumento ereto em homenagem ao ilustre filho, prof. Noguchi, falecido em maio do anno passado, na

### DR. S. TAKAOKA

MEDICO - OPERADOR

Rua Fagundes, 8

Tel. 2-4180

S. PAULO

### Dr. Yemper Kikuchi

MEDICO

REGISTRO

IGUAPE

### COMO DEVEM SER TRATADOS OS ESTRANGEIROS

Conferencia proferida pelo dr. Rangel Moreira, sob os auspicios do "Rotary Club" de S. Paulo e irradiada pela Radio Educadora Paulista.

Num pitoresco recanto da minha terra natal, no valle sempre verde do Ipojuca, morava, ao tempo da minha meninice, o velho Felipe Calvalcanti.

Era no conceito de quantos o conheciam o homem mais nobre daquella redondeza.

Rebento de uma illustre familia de povoadores, cultivava de modo intenso todas as virtudes e todos os gostos dos seus antepassados.

Achelodor, de uma gentileza sem fingimento, mantinha abertos a todos os severos salões do seu solar antigo.

Senhor de engenho, á velha maneira, carregava bem alto o seu penacho de gentil homem.

Na sua conducta privada, nenhum fresta por onde entrasse o commentario malicioso dos seus intimos; mancha nenhuma na sua longa carreira de homem publico.

Moderado em todo os appetites só se lhe conhecia uma paixão sem freios! amava loucamente a troca de animaes.

As suas cavallariças e cercados recebiam todas as semanas novos pensionistas; nenhum envelhecia



R. Brigadeiro Tobias, 110  
TELEPH. 4-7688

SÃO PAULO  
CAIXA POSTAL, 2670

Africa, quando alli se dedicava ás pesquisas sobre a febre amarela, tendo comparecido á mesma mais de mil pessoas, entre elles alunos das escolas locaes e autoridades provincias. O monumento foi descoberto pela senhora Yukiko Noguchi, sobrinha do sabio, e pela menina Kimiko, neta do sr. Sakae Kobayashi.

Professor japonez de belas artes na China

TOKIO, Outubro de 1929 — O governo nacionalista da China acaba de solicitar do nosso governo a escolha de um professor nipponico para ocupar a cadeira de professor-chefe da Escola Nacional de Bellas Artes, ao qual foi respondido que o governo nipponico teria a honra de designar o professor Kazo Saito, da nossa Escola de Bellas Artes. Esta é a primeira vez que a China emite um convite de tal natureza.

Novos navios na linha Yokohama-Nowa York

TOKIO, Outubro de 1929 — É plano da Companhia de Navegação Internacional construir mais tres navios do grupo "diesel", de 9.000 toneladas, para servirem na linha Yokohama-Nowa York.

FECHAMENTO DAS AGENCIAS DO BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA

YOKOHAMA, Outubro de 1929 — A directoria do Banco Especie de Yokohama resolveu fechar as suas agencias localizadas em varias localidades do exterior, inclusive a

municipio um inglez, rapidamente Enriquecido no commercio de algodão, na capital da Parahyba.

Adquirira um engenho, situado a poucos kilometros do em que residia o velho aristocrata.

E, como fosse um homem social, procurou logo a sua convivencia.

Recebido com amabilidade não tardou a affeçõar-se ao rico agricultor.

(Continua)

EDIÇÃO DE 8 PÁGINAS

NIPPAK SHIMBUN

Propriedade e direcção de:

SACK MIURA

Redactor:

Jorge T. Midorikawa

Redacção, Administração e Oficinas

Rua da Liberdade, 146

Caixa Postal, 375

Telephone, 2-3926

Endereço Telegráfico "NIPPAK"

SÃO PAULO — BRASIL

ASSIGNATURAS

Para o Brasil: Por anno . . . . . 30\$000

Por semestre . . . . . 16\$000

Numero avulso . . . . . \$500

Para o Exterior: Por anno . . . . . 60\$000

ANNUNCIOS

Temos á disposição dos interessados uma tabella completa de preços para anuncios, nesta folha. Telephone 2-3926

Um dia, veiu installar-se no seu

## JAPONEZES

NO JAPÃO ... NO BRASIL

Prof. BRUNO LOBO

13

### O JAPONEZ E AS SUAS RELAÇÕES COM OS OUTROS POVOS

(Continuação)

nações, mantivesse natural isolamento, capaz de permitir-lhe, sem a intervenção e a conquista estrangeiras, com elementos proprios, a formação de sua nacionalidade, com arte, literatura e personalidade inconfundíveis.

E se, de um lado, existiam essas razões de ordem geral, pois as noticias de conquistas e destruição de outros países não eram desconhecidas no Japão, por outro lado no proprio territorio japonez desenrolaram-se factos capazes de, por si sómente, levar a convicção a seus estadistas da necessidade, então inadiável em certas épocas do passado, de se precaverem contra os estrangeiros, avidos de ouro e com a preocupação de plantar bandeiras, conquistando empórios coloniais, para as velhas nações da Europa, esgotadas nas suas continuas guerras e competencias.

Inicialmente, forçoso é confessar, o estrangeiro, desde as épocas as mais remotas, sempre foi recebido no Japão com especial agrado e hospitalidade.

Nos tempos primitivos, os habitantes das ilhas, que hoje constituem o Imperio do Japão, recebiam bem os individuos dos outros povos, pois todos os anthropohistoriadores são unanimes em afirmar que varios tipos da especie humana contribuiram para formar o povo japonez, entre os quais assignalam os malayos e outro tipo de origem uraliana. Por outro lado, chineses e coreanos, mantendo boas relações com os japonezes, de tempos em tempos, se transportavam para as suas ilhas, facto este claramente confirmado pela historia sino-coreana e japoneza, pela influencia e adaptação das idéas de Confucio e Buddha, e ainda evidente, dada a influencia das artes e lettras desses paizes na orientação da civilização e dos desenvolvimentos artistico e científico do Japão.

Alguns criticos mesmo, levando em conta o commercio intellectual e as trocas dessa época entre esses paizes, compararam a influencia da China e Coréa sobre o Japão com a exercida pela Grecia e Roma sobre o resto da Europa.

Já 33 annos antes de J. C. ficou demonstrado, pela documentação daquella época, que na Corte do Mikado esteve um enviado coreano, oriundo de Kara.

Por outro lado, os chineses na sua documentação do primeiro seculo da era christa falaram-nos e descrevem a terra dos anões — Wu, explicando o seu modo de vida em minucia, fazendo referencia entusiastica a seu real progresso, pois nessa época ja usavam flechas com pontas de ferro, fazendo notar ainda que elles eram respeitosos e obedientes ás suas leis.

Por este momento, as relações postas entre a China, Coréa e Japão iam pouco a pouco accentuando-se, sendo os estrangeiros sempre bem recebidos neste paiz, mesmo para fixar residencia, como aconteceu com os imigrantes chineses após a queda dos Hans.

A partir do seculo VI, porém, a infiltração de chineses e coreanos fez-se muito mais intensamente, verificando-se então a ida ao Japão de artistas, literarios, philosophos e pensadores e com elles tambem as idéias de Confucio e, a partir de 552, os fundamentos do Buddhismus. Já então, tambem, as relações indirectas com a India eram inegaveis, quer no terreno das idéias quer das letras e artes.

Lentamente, mas de modo seguro, iam pouco a pouco desenvolvendo-se as relações do povo japonez com as outras nacionalidades. Eis, porém, que, em 1274, houve séria tentativa de invasão no Japão, a de Kublai Khan, renovada após o primeiro desastre motivado em parte por uma grande tempestade em 1281, mas repelida com tal energia e bravura, que nunca mais foi tentada durante a longa existencia desta nação, apesar das phases de enfraquecimento verificadas no paiz, dadas as interminaveis e constantes lutas e rivalidades de seus grandes homens, dos seus valentes dignatarios.

Desenvolvida a navegação era natural que ao Japão fossem ter navios de outros paizes, sendo sucessivamente visitado pelos detentores das primeiras naves, alli aportando portuguezes, hollandezes e espanhóis.

Todos estes navegadores, chegando ás costas e portos das ilhas japonezas, foram bem recebidos e bem tratados.

A natural repulsa e prevenção que, pouco a pouco se foram contra elles formando e fortalecendo, tiveram origem no proceder irregular e ganancioso e ainda no sectarismo obsecante dos que ali desembarcaram ou aportaram.

Após os representantes dos povos asiaticos, foi um portuguez, Mendes Pinto, quem primeiro, e, digamos de passagem, por acaso, trouvo conhecimento com os japonezes em o anno de 1543. A prova evidente de que teve boa recepção é que, tirando partido da situação surgida inesperadamente, pôde ceder o carregamento de seu navio mediante o lucro de 1.200 por cento!

Pouco tempo depois chegou ao Japão S. Francisco Xavier, que ali viveu pregando e doutrinando livremente por longos annos, considerando este paiz um paraíso de docura e bondade, affirmando e escrevendo serem os japonezes as delícias de sua alma.

Já Mendes Pinto ficou surpreendido ao encontrar um povo mais civilizado do que o portuguez, não mais comendo com os dedos, e S. Francisco Xavier declarou tambem admirado do que via que, ao invés de um povo barbaro, que elle esperava encontrar, verificou ao desembarcar uma civilização requintada, mais requinta mesmo que a desse paiz. Declarou ainda que os japonezes ultrapassavam em virtudes e probidade todos os povos até então conhecidos.

Nobunaga, com o seu grande poderio e espírito de luta, desgostoso da influencia do buddhismo, que elle considerara nociva, chegou mesmo a favorecer a propaganda dos adeptos da religião christã e a ajudar a reacção contra os chefes feudais, intransigentes na suas idéias.

(Continuação)

## "O JAPÃO EM SÃO PAULO"

— FUNDADA EM 1906 —

### ARTIGOS JAPONEZES EM GERAL

RUA S. BENTO, 60 — S. PAULO

Telephone: 2-2788

Caixa Postal, 344